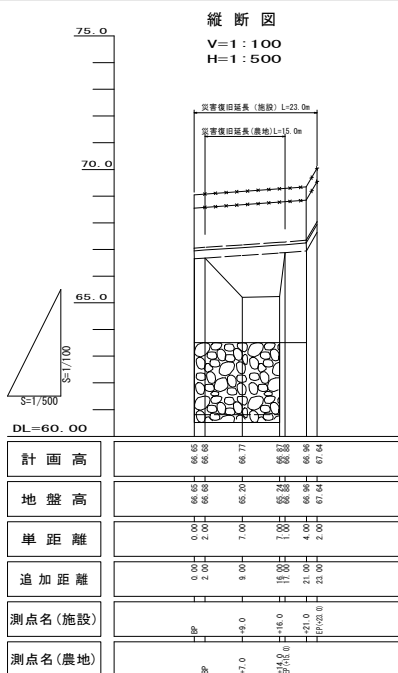
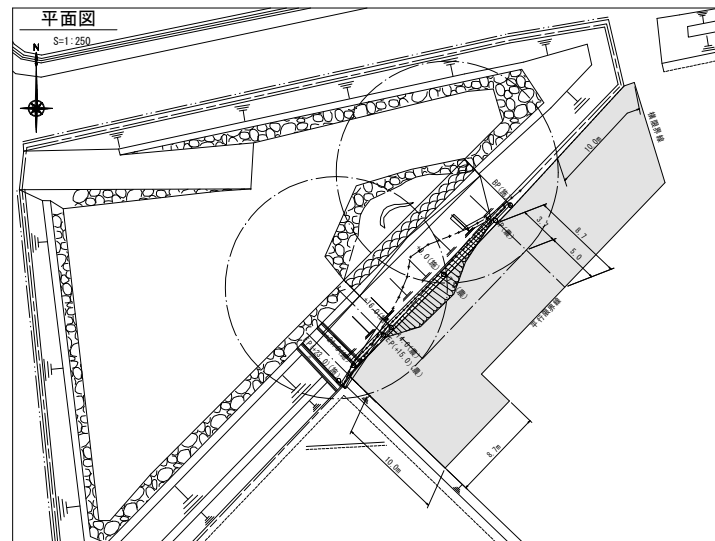
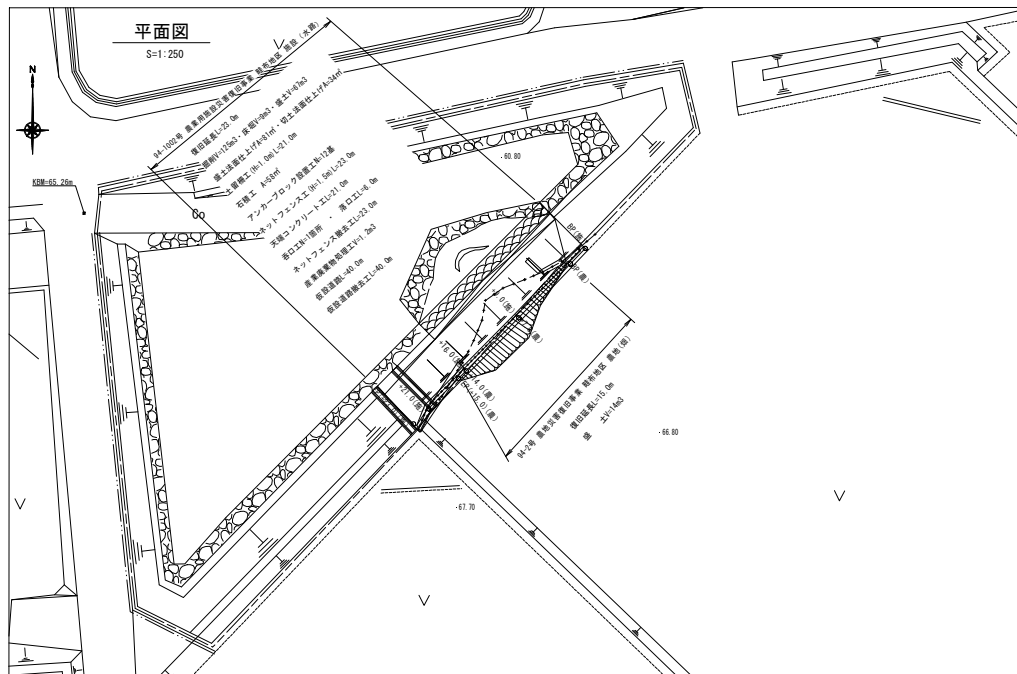
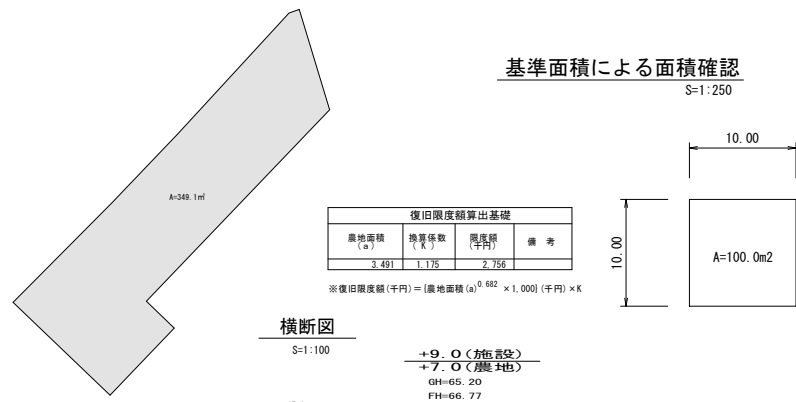


農地復旧限度額算出図



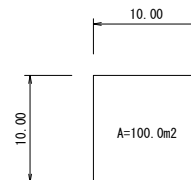
基準面積による面積確認

S=1:250



復旧限度額算出基礎			
農地面積 (a)	換算係数 (千円)	限度額 (千円)	備考
3.491	1.175	2.756	

※復旧限度額(千円) = 農地面積(a)<sup>0.882</sup> × 1,000(千円) × K



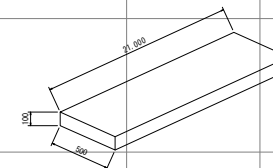
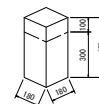
- 面積計測前に基準面積が100m<sup>2</sup>であることを確認する。
- 出力図面が縮尺に応じた延長10mであることを確認する。
- 平面図に1ヶ所以上辺長を記入し出力図面でスケール確認する。

工事名	2年災 94- 2号 畦布地区 農地災害復旧事業		
図面名	2年災 94-1002号 畦布地区 農業用施設災害復旧事業		
作成年月日	令和 2年	月	日
縮尺	図示	図面番号	1 - 1
会社名			
事業(部)所名	和泊町 耕地課		

産業廃棄物処理工

基礎ブロック

天端コンクリート

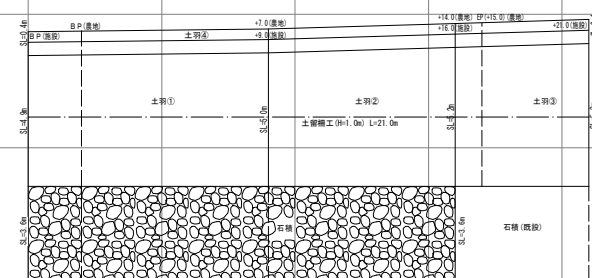


基礎ブロック  
0.18×0.18×0.3×13=0.13m<sup>3</sup>

天端コンクリート  
0.10×0.50×21.0=1.05m<sup>3</sup>

ΣV=0.13+1.05=1.2m<sup>3</sup>

土羽工展開図  
S=1:100



【土羽工面積】

- ① (4.9+5.0)/2×9.0=44.6m<sup>2</sup>
- ② (5.0+5.2)/2×7.0=35.7m<sup>2</sup>
- ③ (5.2+5.3)/2×5.0=26.3m<sup>2</sup>
- ④ 0.4×21.0=8.4m<sup>2</sup>

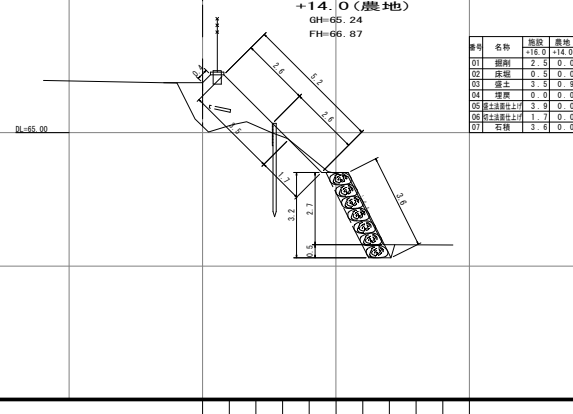
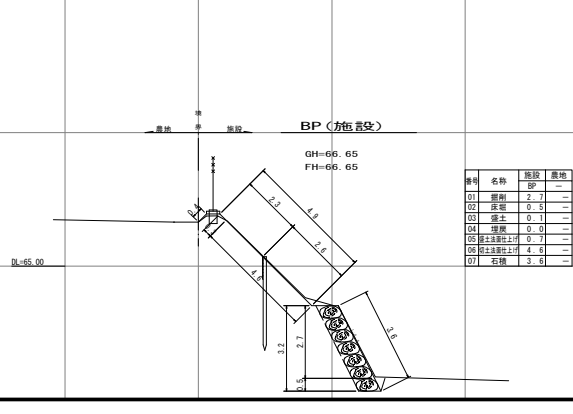
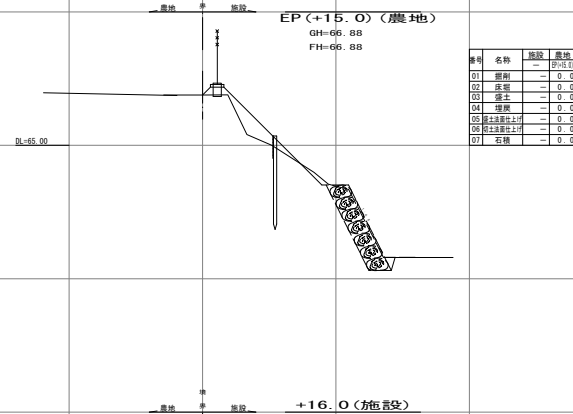
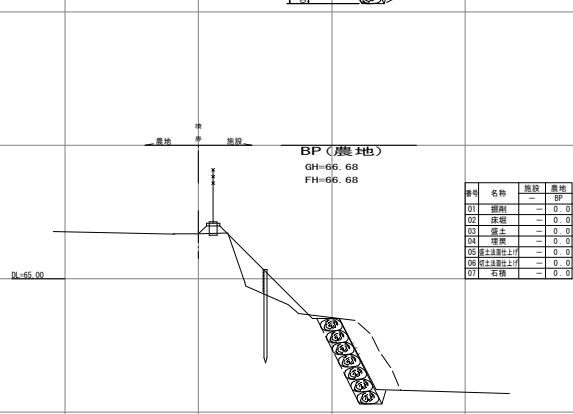
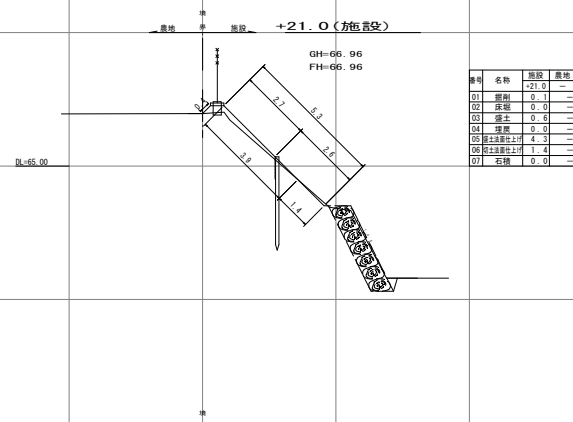
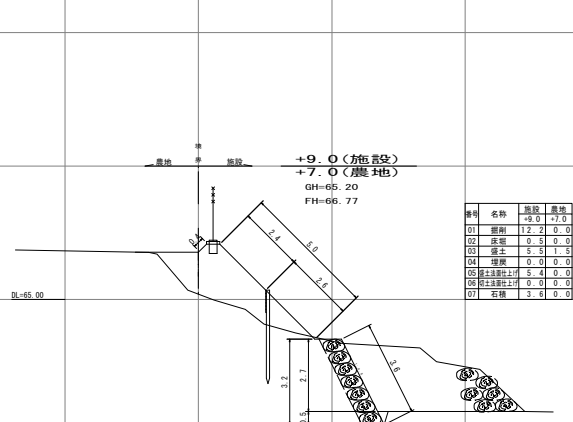
①+②+③+④=115m<sup>2</sup>

盛土法面仕上げA=81m<sup>2</sup>(土坪計算書より)

切土法面仕上げA=34m<sup>2</sup>(土坪計算書より)

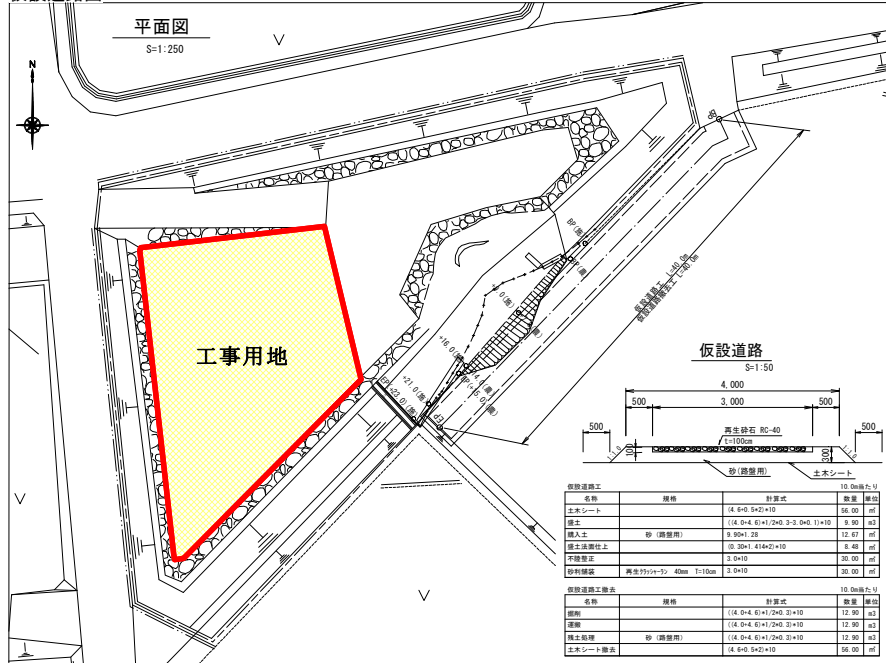
【石積工面積】

A=3.6×16.0=58m<sup>2</sup>



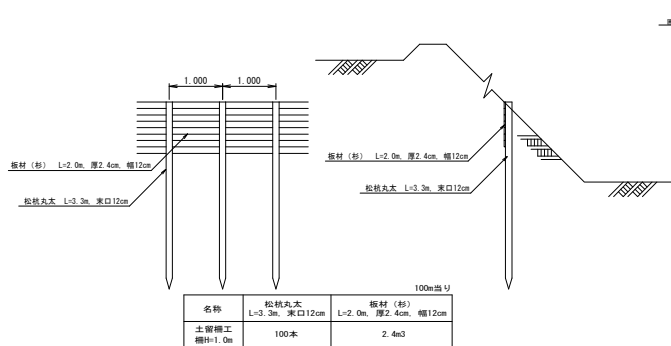
工事名	2年災 94-2号 畦布地区 農地災害復旧事業		
図面名	横断面・土羽工展開図・産業廃棄物処理工		
作成年月日	令和 2年	月	日
縮尺	図示	図面番号	1-2
会社名			
事業(箇所)名	和泊町 耕地課		

仮設道路図



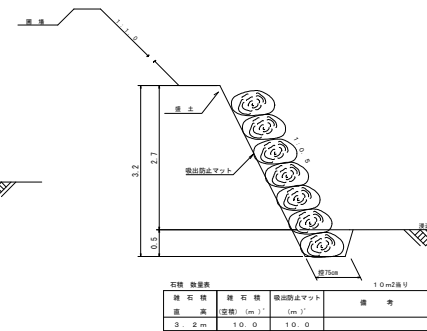
土留柵工 (柵H=1.0m)

(隠れ柵工) S=1:50



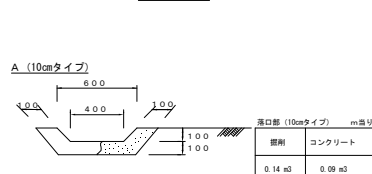
石積

直高H=3.2m



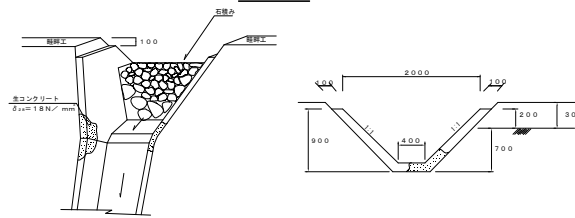
落口工

断面図



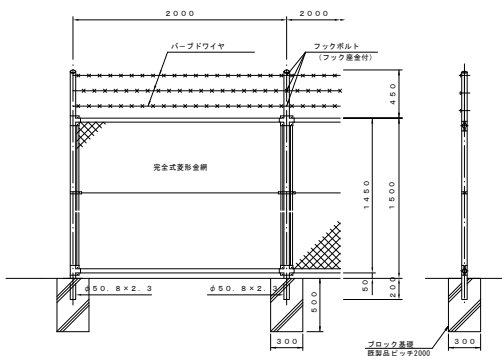
呑口工

断面図



ネットフェンス工

S=1:25

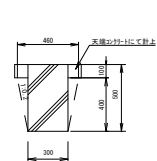


アンカーブロック土工標準図

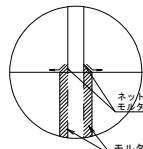
S=1:20

ネットフェンス用

忍返し付 天端Co有

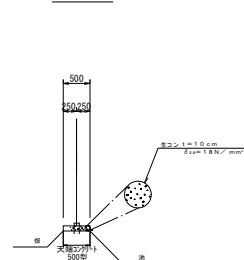


ネットフェンス根元部



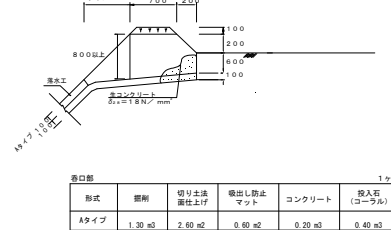
天端コンクリート工

500型



形式	規格	数量	単位
コンクリート	t=10cm	0.45	㎡
養生	t=10cm	0.45	㎡
型枠	2.00	2.00	㎡
伸縮目地		0.15	㎡

呑口標準図



アンカーブロック土工数量表 10箇所当たり

種別	規格	計算式	数量	単位
ネットフェンス		((0.30×0.30×0.46×0.46)+2×0.40)×10=0.6m3	0.60	m3
忍返し付 天端Co有	※埋戻し モルタル	((0.30×0.30×0.46×0.46)+2×0.4-(0.30×0.30×0.40))×10=0.243	0.24	m3

※ネットフェンス用基礎A型? 埋戻しについては狭小であるため、モルタルによる埋戻しとする。

工事名	2年災 94- 2号 畦布地区 農地災害復旧事業
図面名	仮設図・構造図
作成年月日	令和 2年 月 日
縮尺	図示
図面番号	1-3
会社名	
事業(務)所名	和泊町 耕地課